

社会貢献委員等による子どもの事故未然防止巡回活動の実践

中国遊技機商業協同組合（山本基庚理事長）では、毎年全日遊連において実施されている「子どもの車内放置事故防止対策」の取組み趣旨に賛同し、平素からホール様と連携のある組合員が「ホール駐車場等における子どもの車内放置事故ゼロ」を目指し巡回活動を実施しておりますが、より効果的な実践的活動を行なうための実態把握のため、中国遊商管内5県内の各県遊協を介してホール様にご協力をお願いのうえ、今年度は9月27日、岡山県倉敷市内のホール様1カ所を、理事長をはじめ社会貢献委員長等4名が訪問しました。

今年度も訪問先ホール様と事前の連携と協力体制を密にし、新型コロナウイルス感染症対策に努めながら、店長をはじめ役員、そして岡山県遊協役員等5名の皆様方との情報交換後、店長、ホール様警備員から平素の巡回コース等をお聞きしながら、組合専用の黄色のチョッキに幼児車内放置ゼロの腕章(中国遊商作製)を付けて立体駐車場4階から順次1階へ、更に屋外平面駐車場へ、計200数十台の駐車車両について巡回活動を実践しました。

各駐車場の巡回に当たっては、遊商独自に駐車車両内の確認を行いましたが、無施錠の車両もなくチャイルドシート付きの車両も散見されるなか、子どもの乗車は認めませんでした。今回、店長、ホール様警備員及び岡山県遊協役員等の皆様と一緒に巡回する機会に触れ、未だ全国的に発生している駐車場における子どもの車内放置事故を岡山県遊協とその傘下のホール様がスクラムを組んで車内放置事故ゼロを願い、それを目指した積極的な取組みをされていることを強く感じました。

今回の活動を通じて巡回時間帯の設定や視認が困難な車両内確認、立体駐車場の各階の選定等の重要性を再認識し、今後も子どもの尊い命を守るため継続して取り組んでいく方針です。

(写真1)



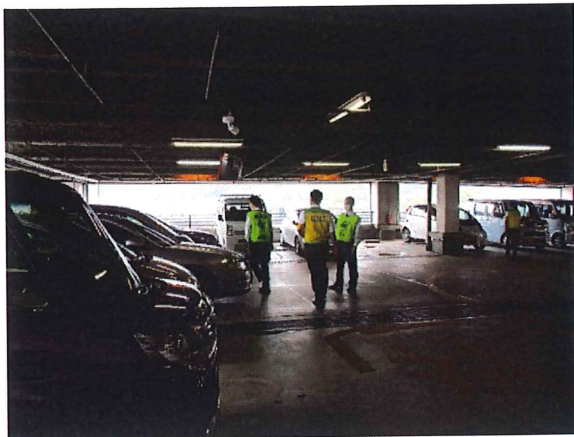
駐車場の巡回活動に参加の皆様  
(ホール様、岡山県遊協、中国遊商)

(写真2)



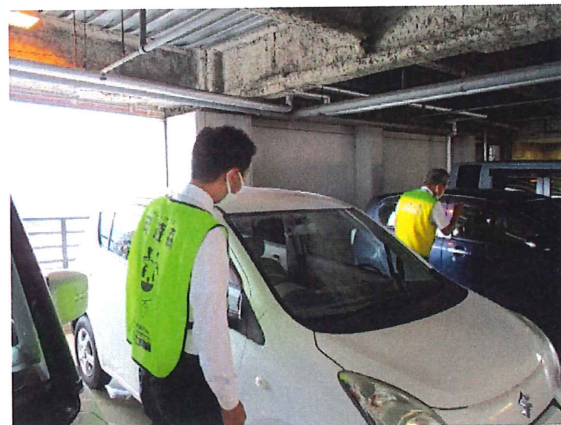
駐車場の巡回に当たる参加者  
(黄緑ホール様等 黄色中国遊商)

(写真3)



ホール様・中国遊商の合同確認・点検

(写真4)



ホール様・中国遊商の各点検・確認